

2017年3月22日

イリオモテヤマネコ保護増殖事業分科会

イリオモテヤマネコの交通事故と 西表島の道路交通：傾向と対策 2016年度データから



2016年度夜間パトロールによる遭遇 車両情報の収集

【期間】2016年4月～2017年1月

【時間帯】午後7時30分頃～午後10時30分頃

【車両データ収集区間】海中道路東～後良橋北

【パトロール日数】119 日

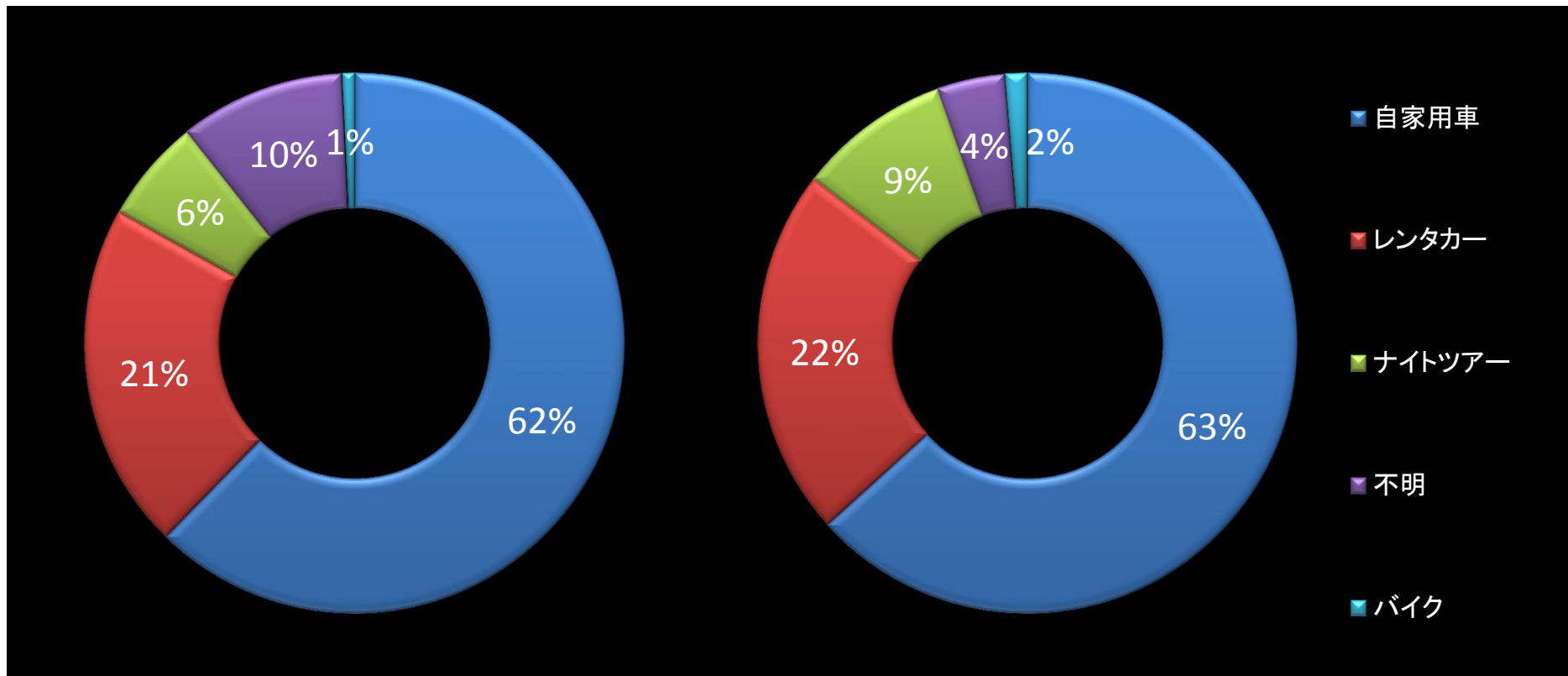
【パトロール員】20名10チーム※

【収集する情報】台数（進行方向別）、種別、速度

※2016年5月東部パトロールチーム設立

（東部10名、西部10名）

遭遇車両の台数と種別内訳



総台数： 2015年度：1350台（日数：70日 1日平均台数19.3台）

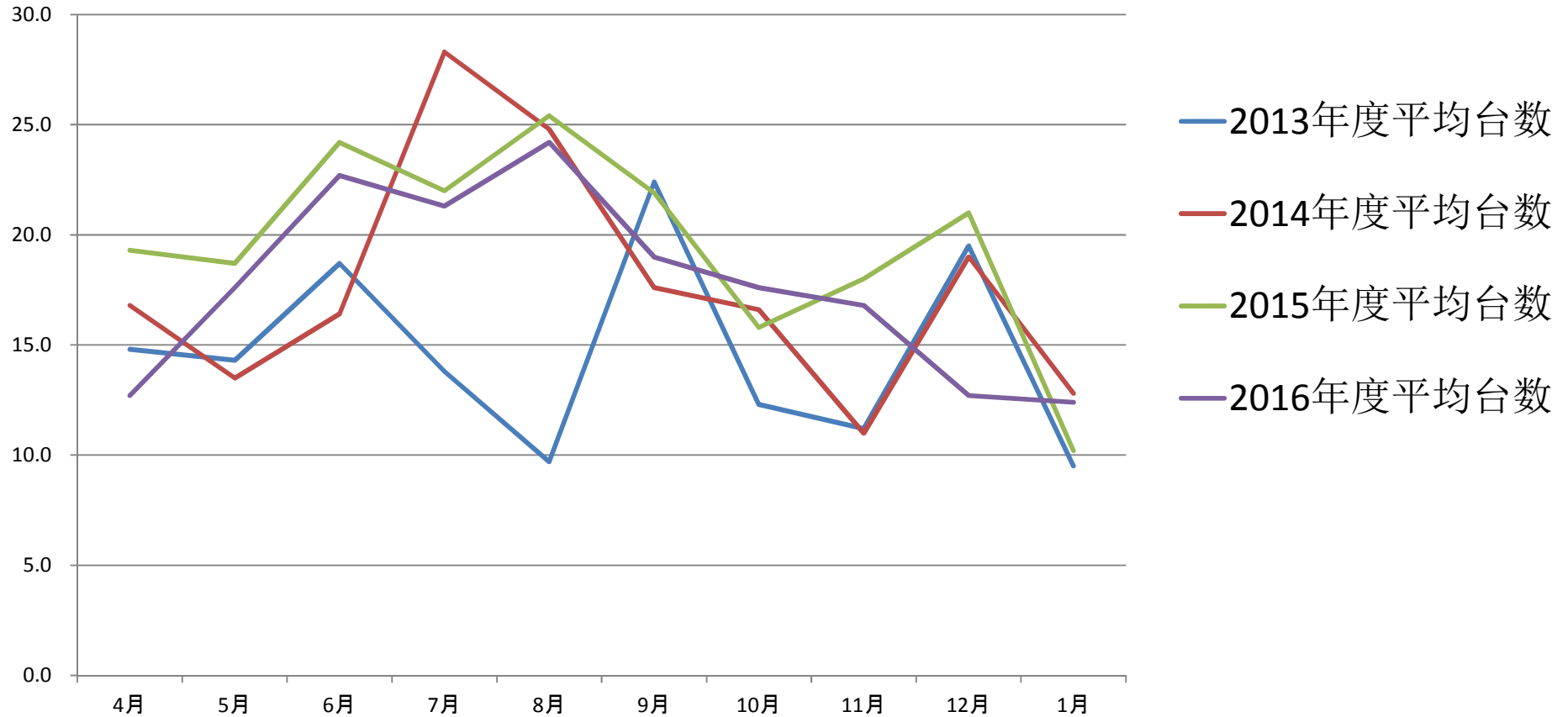
2016年度：2187台（日数：119日 1日平均台数18.3台）

・不明車両が10%→4%に減少。ナイトツアーが3%とレンタカーが1%増加した。

・比率は例年おおむね同じ。一日平均台数は前年度比較で1台減

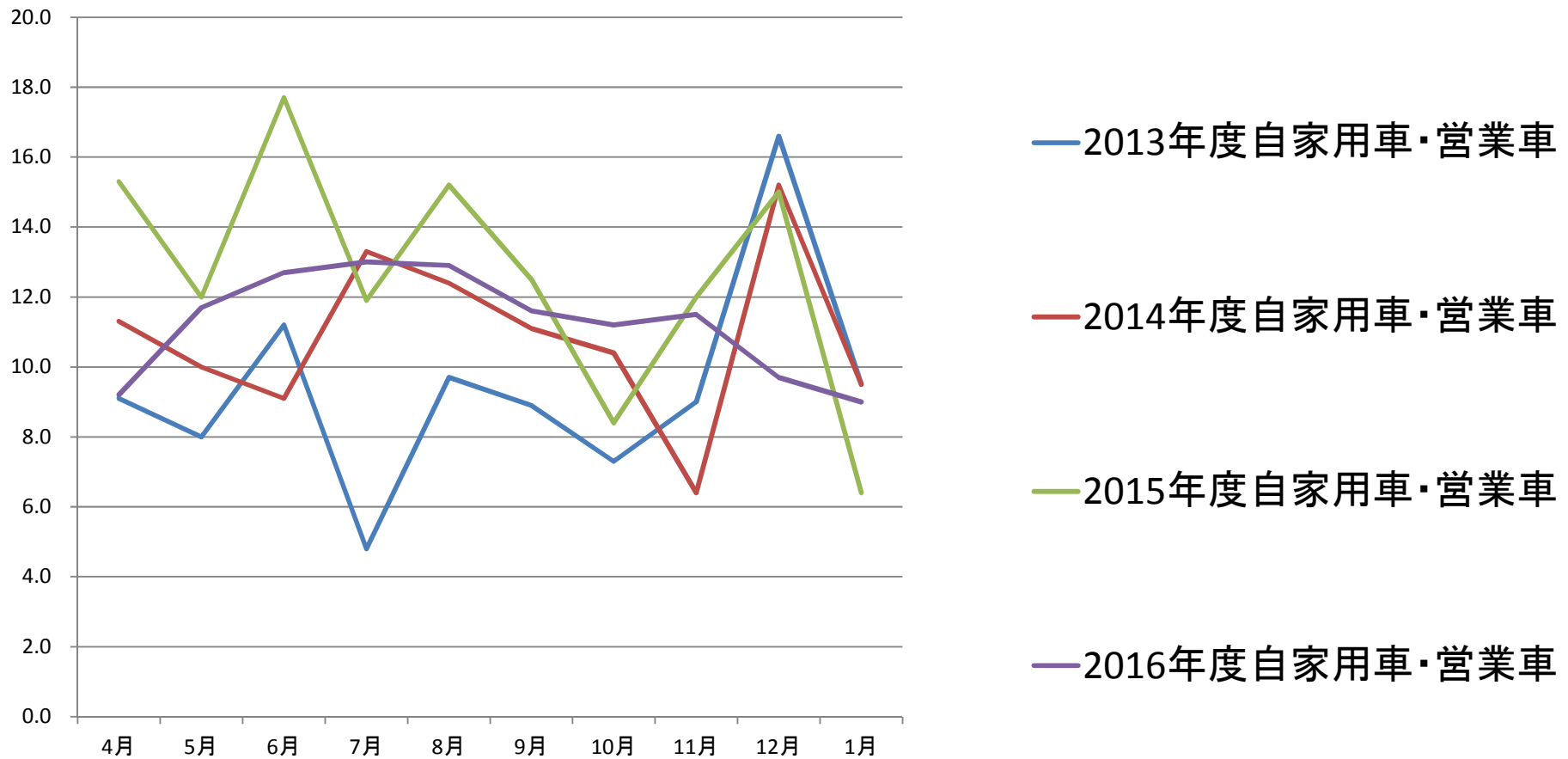
※海神祭前夜祭は交通量が著しく多い為、一般的分析対象から外した。

全車両 一日平均台数の4年間比較(月別)



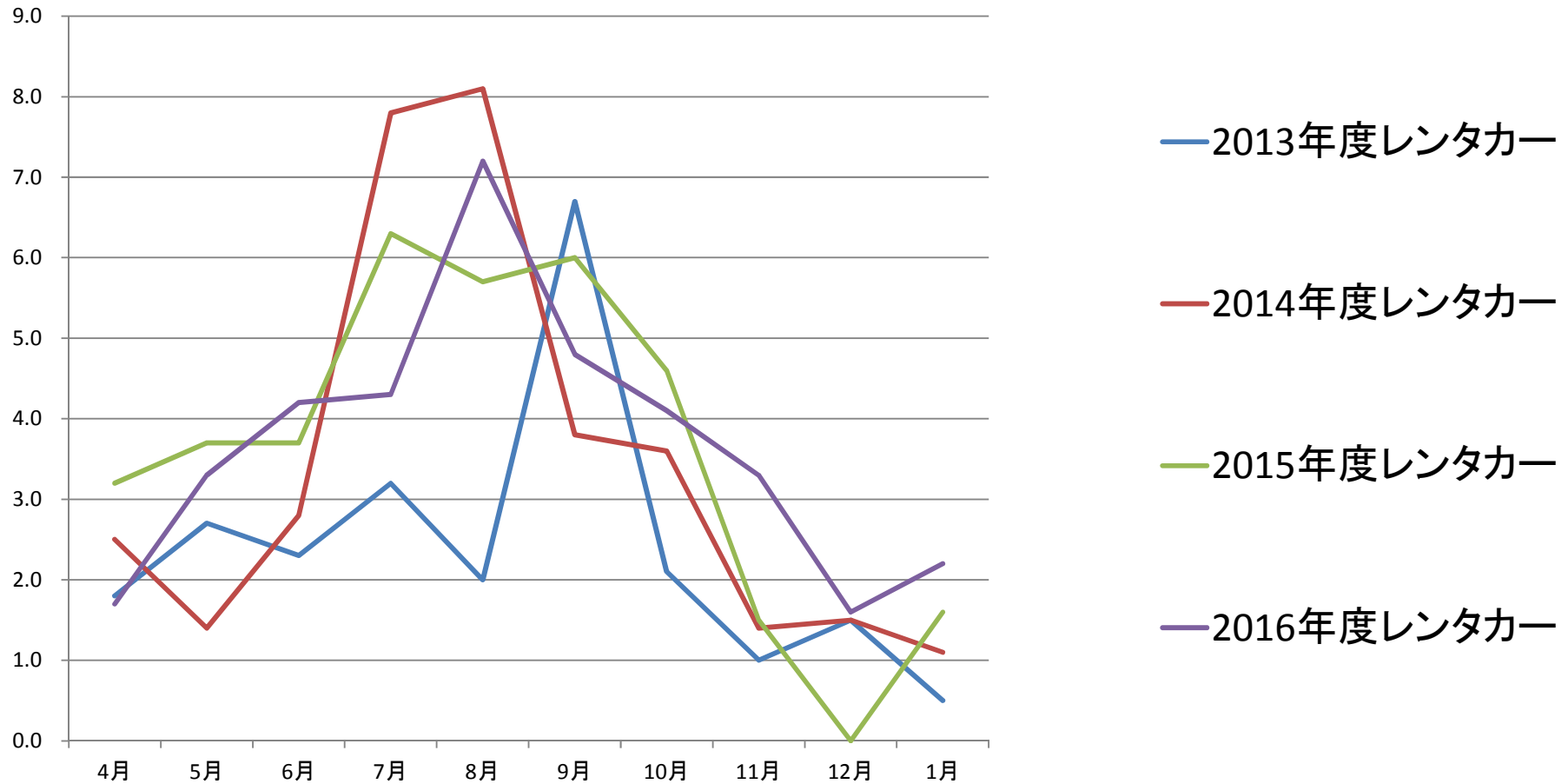
- ・測定した車両数は1729台。(2016年4月～2017年1月)
- ・一日平均12～24台(白浜方面・豊原方面)。
- ・最も遭遇車両数が多いのは6月～8月(2016年度のピークは8月の24.2台)
- ・今年は年末のピークが見られなかった。(原因は自家用車)

自家用車・営業車 一日平均台数の4年間比較(月別)



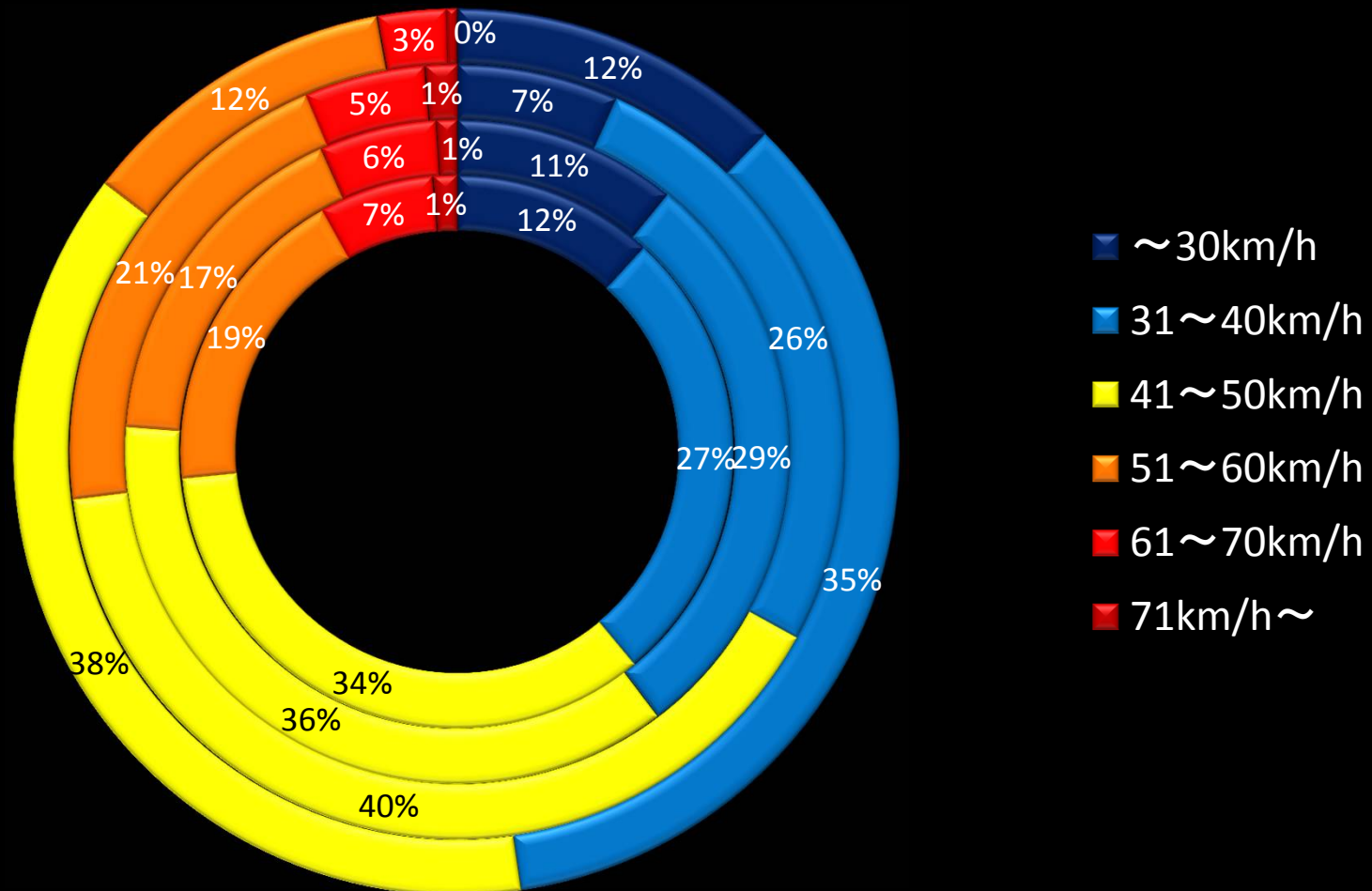
- ・一日平均9~13台と例年になく纏まっていた。
- ・ピークは8月の12.9台と6月の12.7台。
- ・12月は13年~15年の間で(15~16.6台)と大きなピークがあったが、今年は9.7台と少なかった。
- ・交通量にいままでのようなピークが現れなかったのは、東部出発が多かったからか。

レンタカー 一日平均台数の4年間比較



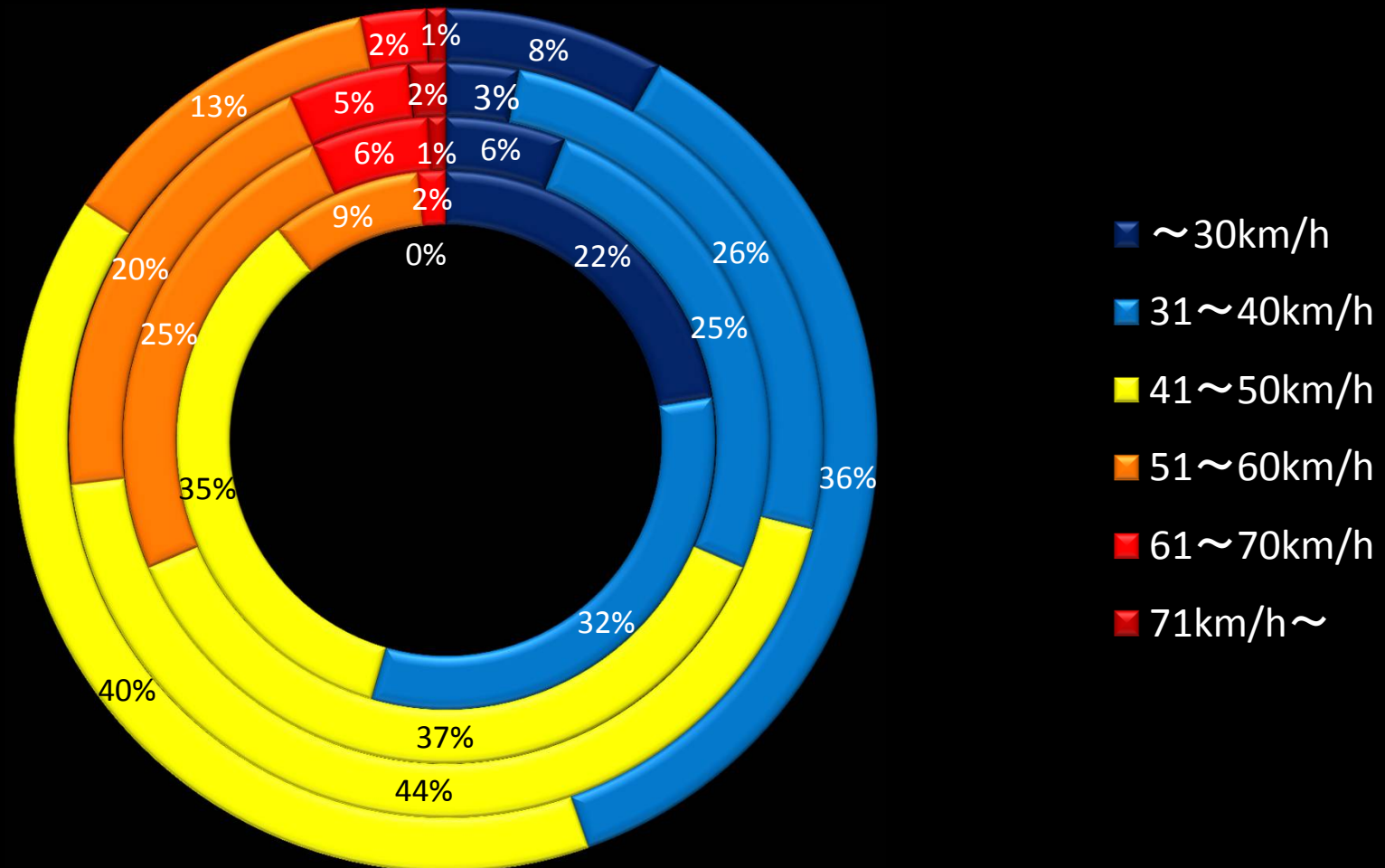
- ・2016年度(2016年度4月～2017年度1月)は、390台を測定。一日平均1.6～7.2台
- ・4年間のデータを見ると夏に大きなピークが来る(6～9月)ことがわかる。
- ・2016年は8月に7.2台と大きなピークがきた。7月と9月はそれぞれ4.3台、4.8台とそれほど多くなかった。

遭遇車両(全)の速度(内→外2013→2016)



- ・測定した車両数は1729台。
- ・スピード違反の割合は2013年から2015年の間に6割→7割近くまで増加したが、2017年は一転して約5割にまで減少した。
- ・増加傾向だった51km/h~からの高速度帯の違反も軒並み過去最低となった。

自家用車・営業車速度データ(内→外2013→2016)



- ・2016年度(2016年4月～2017年1月)は1102台を測定。
- ・自家用車・営業車の速度違反は年々増加し、昨年度過去最悪の71%にまで達したが、2016年度は55%にまで低下している。(16ポイント減)
- ・50km/h以上の高速度帯の違反は3年連続で減少。2016年は15.7%。それでも100台中15台は50km/h以上で走行していることになる。

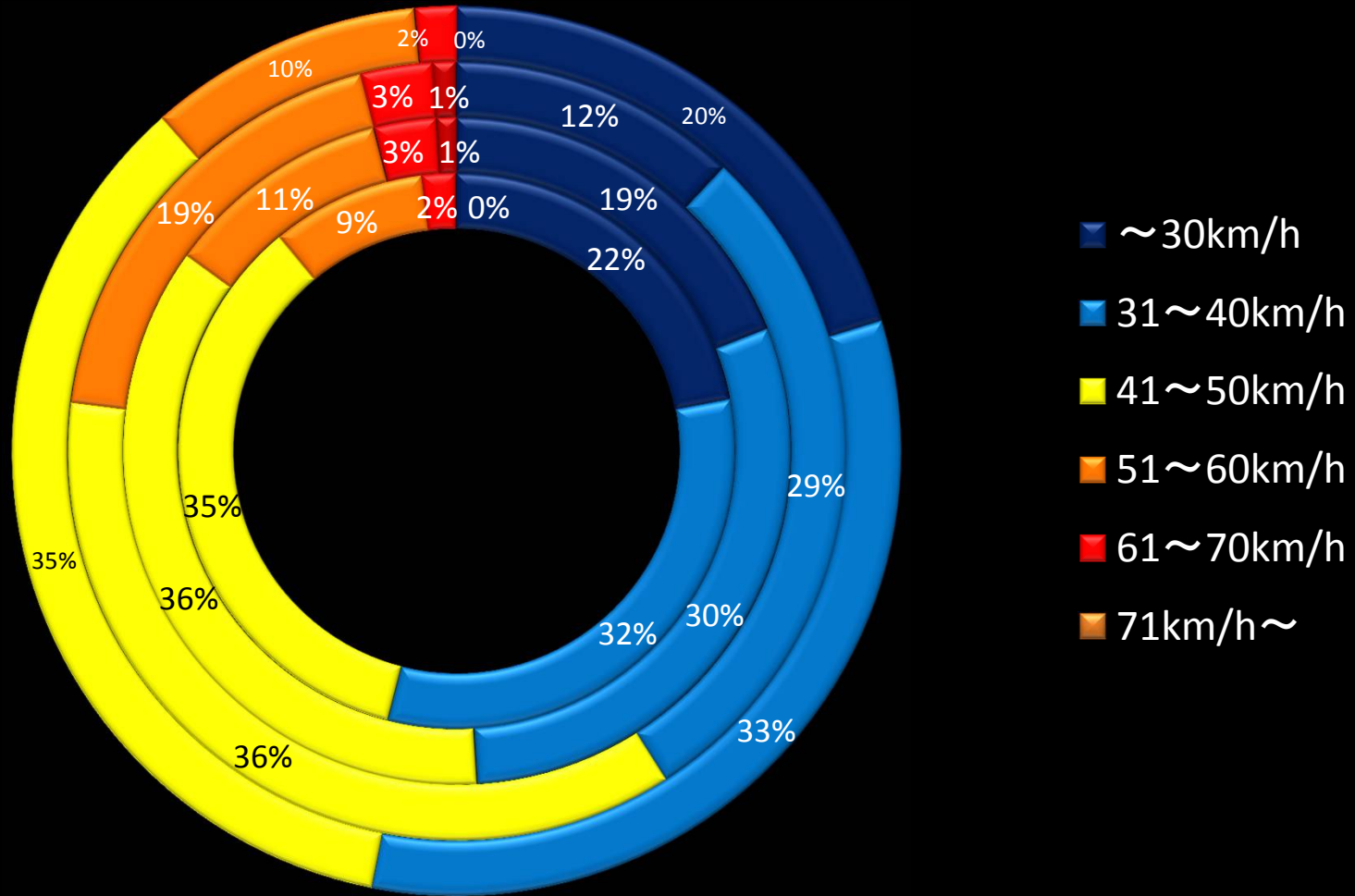
自家用車・営業車 月別平均速度(年度比較)

	2013年度自家用車・営業車	2014年度自家用車・営業車	2015年度自家用車・営業車	2016年度自家用車・営業車
4月	46.0	42.8	46.8	43.8
5月	45.0	47.0	44.6	42.5
6月	43.5	43.9	46.9	40.7
7月	45.2	46.2	44.1	42.7
8月	43.5	44.3	45.1	41.6
9月	49.7	45.6	43.1	42.9
10月	45.3	45.0	46.3	43.3
11月	46.4	41.4	47.5	40.3
12月	46.5	45.4	42.2	41.5
1月	46.5	46.8	44.7	44.8
年間平均	45.8	44.0	45.1	42.4

※ 速度 高 赤 黄色 緑 水色 速度 低

- ・ 月別の平均速度を比較すると2016年度は6月以降ほぼすべての月で過去最低水準の速度となっている。年間の平均速度は42km/hでこちらも過去最低速度。
- ・ 5月31日の時点で4件の死亡事故が発生し、新聞では5月7日に一面で過去最悪ペースと伝えられていた。地域でも話題になっていた。
- ・ パトロールが島民に知られるようになり、パトロール車が通りかかるときにスピードを落としているのではという指摘もある。今後検証が必要。

レンタカー速度データ年度比較(内→外2013→2016)



- ・2016年度(2016年度4月~2017年度1月)は、390台を測定。
- ・年々高速化が進み、昨年度速度違反率は59%にまで達したが、2016年度は46%にまで減少した。前年と比べて~30km/hの低速度帯が8ポイント上昇。また51km~60km/hの速度帯が9ポイント減と低速化の傾向がみられるが……

レンタカー月別平均速度(年度比較)

	2013年度レンタ カー	2014年度レンタ カー	2015年度レンタ カー	2016年度レンタ カー
4月	41.2	41.1	40.4	42.6
5月	33.6	42.4	43.1	35.9
6月	35.4	35.2	47.7	39.8
7月	40	39	38.4	39.7
8月	37.5	35.2	42.8	38.4
9月	41	36.3	42.5	39.2
10月	42.1	41.3	50.1	40.6
11月	34.8	34.8	47	38.1
12月	37.3	42.6	0	44.1
1月	38.8	39.8	44.7	41.5
年間平均	38.1	38.7	39.6	39.9

※ 速度 高 赤 黄色 緑 水色 速度 低

・4月と12月のデータが過去最高速度となった。年間平均速度は39.99km/hで制限速度内ではあるが過去最高。2015年は12月のパトロールが1回しかできなかったため、データが取れず0になっている。それ以外のデータを足すと44km/h。

スピードが出やすいのはどこか？



- ・データは西部パトロールチームのもの(2016年10月~2017年1月)データは少ない。今後集積していきたい。
- ・東端と西端では計測時刻に1時間半の差がある。その点が影響しているかどうかは、今後東部パトロールチームのデータと突き合わせて検証していきたい。
- ・(限られたデータで見る限りだが)ノバル、美原は速い。アイラは橋よりも東側が直線になるためか、速い。



JTEF 西表島支部

やまねこ
パトロール

2016年のデータに現れた傾向

- 遭遇車両の数・内訳、遭遇が多い時期に大きな変化はない。
(自家用車に限っては検証が必要)
- スピード違反の割合は過去3年間増え続けたが今年減少。
- **自家用車の平均速度は過去最低**。特に、6月以降ほぼすべての月で過去最低水準の速度となっていることが注目される。その現象と、**5月までで過去最多ペースの事故が発生していたこと**が関連している可能性がある。
- **レンタカーの速度が年々微増**している。新空港開設により急激に観光客の質的な多様化が生じたことが尾を引き、ゆったりと走るばかりではない観光客の層が安定・増加しつつあるのかもしれない。**世界遺産登録前後に客層がより多様化することが予想される中、この問題は深刻化していく可能性がある**。
- 速度と場所、事故の関係はまだデータ不足。今後、データを集めて検証していく。



J T E F 西表島支部

やまねこ
パトロール

今後の対策：自家用車・営業車

- 昨年6月以降の速度低下の原因が、5月までで過去最多ペースで事故が発生していたことによるものかどうか、自家用車運転者からの聴取りによって大まかな検証を行う。
- 併せて、自家用車運転者が、どのような情報を、どのようなタイミングで、どの場所で(どのような媒体で)知れば、日常の運転変化につながり易いか、についても意見を聴き取る。
- 以上を踏まえて、目撃・事故発生関係の情報発信のあり方を再検討したい。検討に当たっては、関係行政機関等と密に連携させていただきたい。
- 長期的視点に立って地域の内発的な変化を促す普及啓発策も引き続き重要となる。竹富町教育委員会と島内各校の協力により実施している「ヤマネコのいる暮らし授業」を継続していくほか、「イリオモテヤマネコの日」にミニ・シンポジウムなどのイベントを企画し、イリオモテヤマネコの保全を訴えていく。



今後の対策：レンタカー

- レンタカーの速度実態は、運転ルール遵守面での観光客の質の低下が起きている可能性が高い。観光客の善意だけに依存した普及啓発手法に限界があることは、年々明白になってきている。
- レンタカー事業者との意見交換等を通じて、その点を検証し、併せて、世界遺産登録前後の運転者の質のさらなる変化も視野に、どのような追加的対策が有効かを検討していく。
- 「イリオモテヤマネコの日」には、相当部分の入域者にリーチし、しかも観光客が自発的にスピードを落とすように誘導するプロモーション動画を公表する(公表：竹富町)。関係機関には、普及にご協力をいただきたい。